

死亡事故の発生状況

「死亡(死者)」とは、交通事故によって発生から24時間以内に亡くなった場合(人)をいう。ただし、「30日死者の事故」の項では、「死者」を「24時間死者」という。

91件
91人

死亡事故の特徴

死者数は統計が残っている昭和23年以降、2番目に少ない

平成29年中の死者数は、前年に比べ5人(+5.8%)増加した。

高齢死者が増加

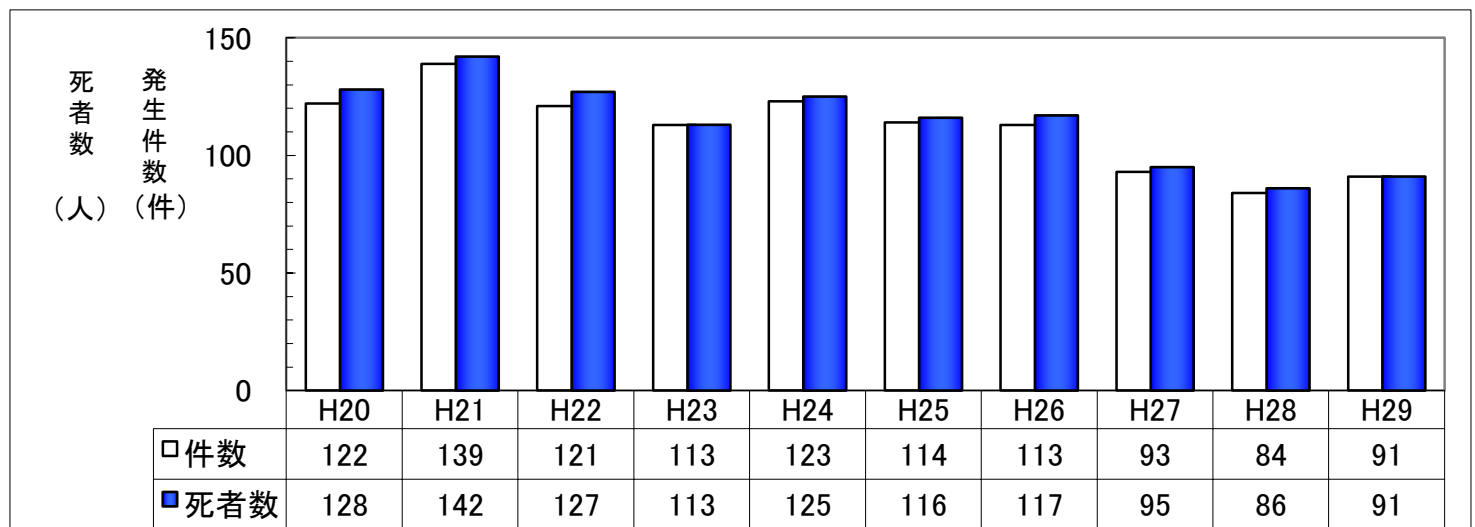
年代別死者数では、高齢者が49人(前年比+2人)で最も多く、死者の53.8%を占めた。

高齢運転者による死者数が増加

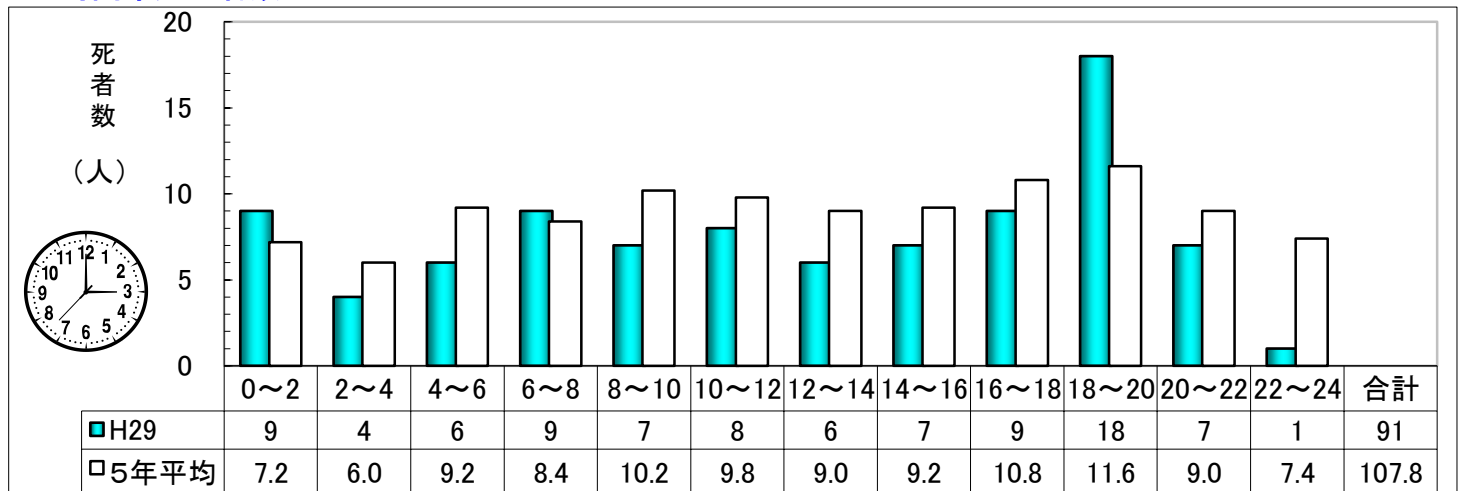
高齢運転者による死者数は、23人で前年に比べ3人(+15.0%)増加した。



● 過去10年間の推移



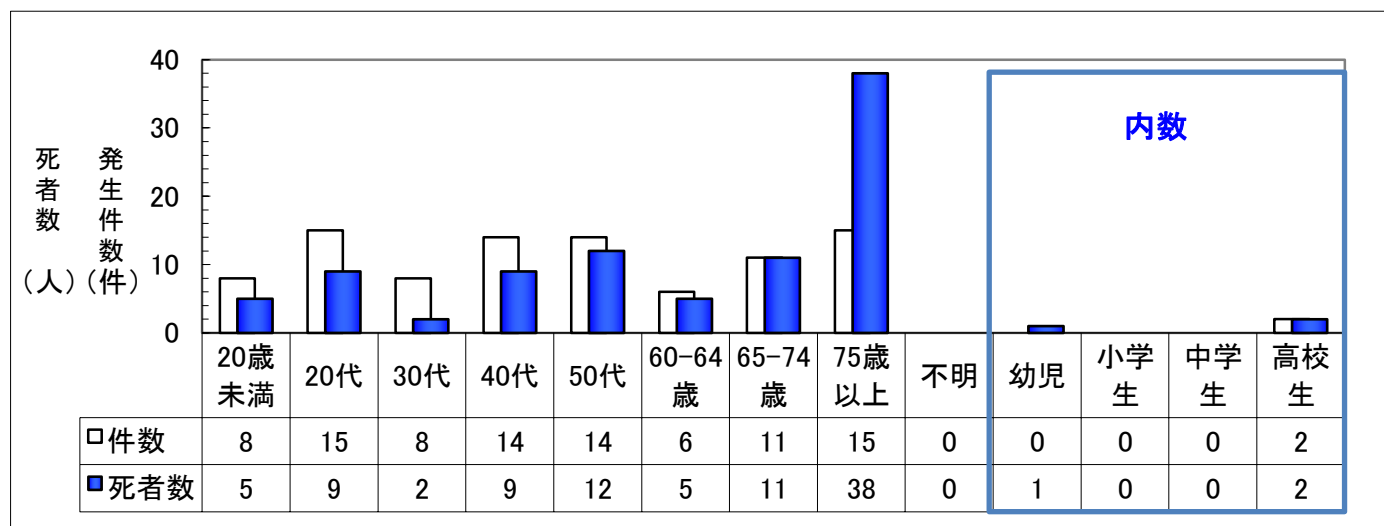
● 時間帯別死者数



● 道路形状・事故類型別死者数

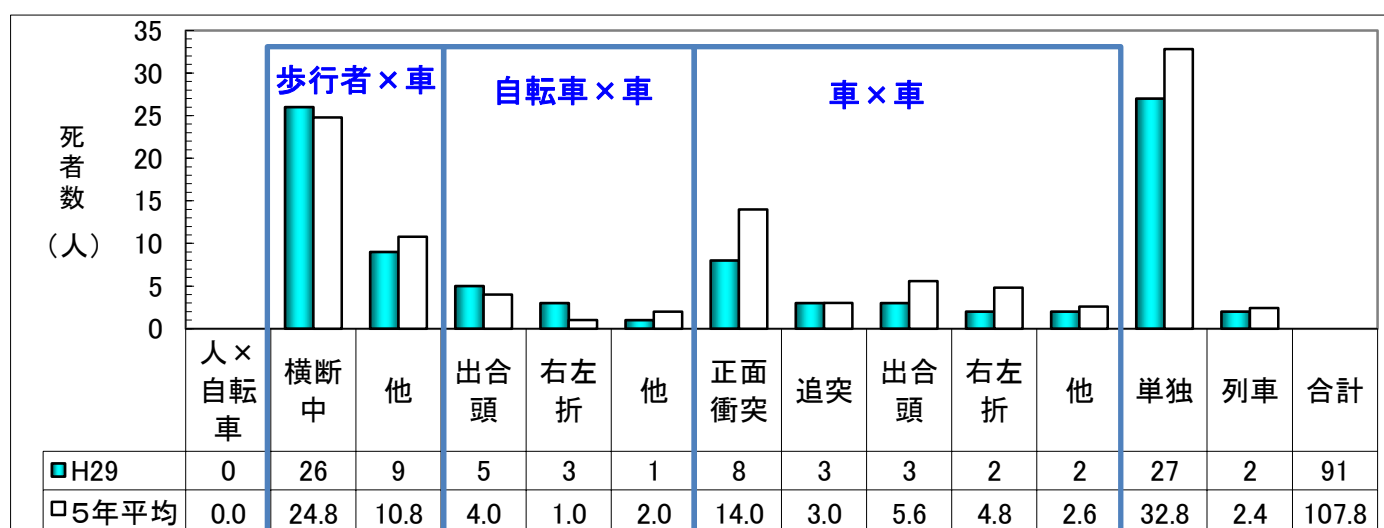
事故類型	道路形状			単路	踏切	その他	合計
	交差点						
	信号有	信号無	計				
歩行者×車	11	9	20	14	1	0	35
自転車×車	5	3	8	1	0	0	9
車×車	4	2	6	12	0	0	18
車単独	0	1	1	26	0	0	27
列車	0	0	0	0	2	0	2
合計	20	15	35	53	3	0	91

● 年齢層別発生状況

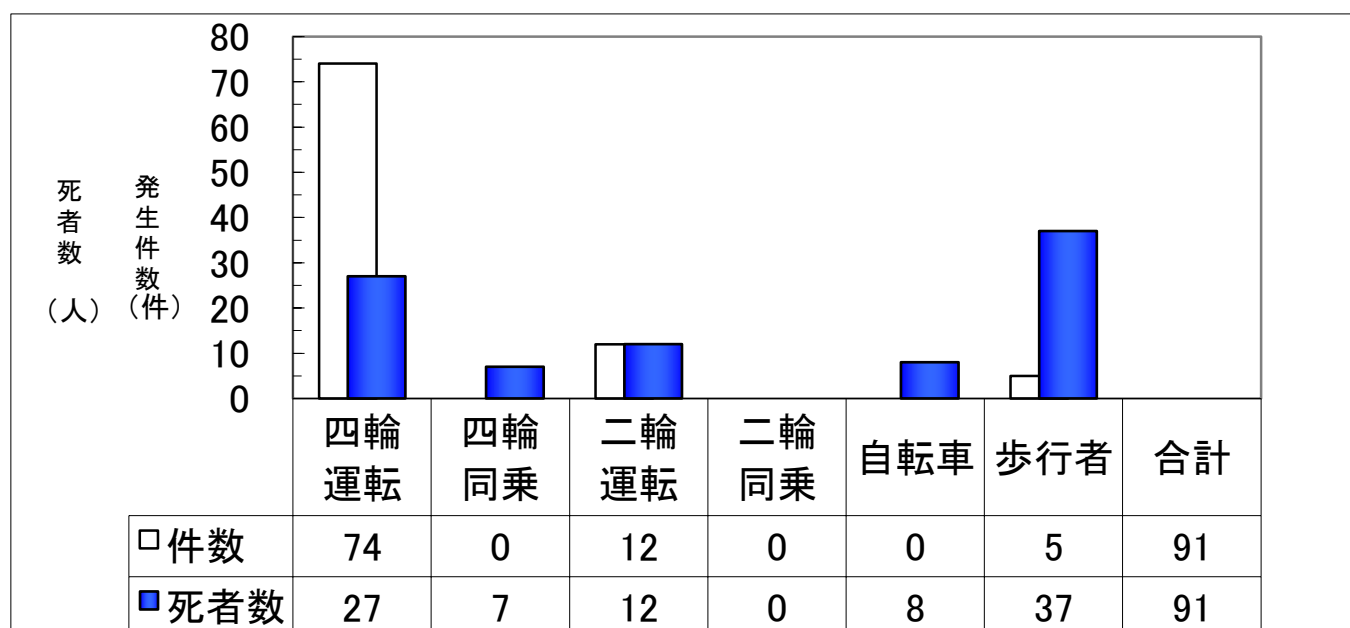


※ 件数は、事故の第1当事者の年齢層で、死者数は死亡した本人の年齢層である。

● 事故類型別死者数



● 状態別発生状況



※ 件数は、事故の第1当事者の状態別で、死者数は死亡した本人の状態である。